総合企画局総合政策室市民協働推進担当
みんなごとのまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

市民協働推進コーディネーター活動報告書

2024/04-2025/03

Vol.10
2025(令和 7)年 3 月
京都市総合企画局
総合政策室市民協働推進担当
コーディネーター:牧野杏里

広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集中！ 「まちづくり・お宝バンク」提案一覧

活動の発信の機会が増えています！

取組例 01

提案者同士で交流や連携をしながら、取組の発信をしていこう！

自律的な運営　市民協働

取組中

コロナ禍の影響で市民活動を広く発信できるイベント等が減少していました。しかし世の中の活動が戻ってくるにつれて、『まちづくり・お宝バンク』の取組提案の発信機会をそろそろつくってもいいのではないか思える社会状況になり、（予算はないけれど、、）この機を逃したくない！と、コーディネーター2 人で企画を考えてみることにしました。

お宝 No.482 お宝バンク 京都のまちの文化祭実行委員会

協力
- 行財政局 庁舎管理課
- 文化市民局 文化芸術企画課
- 都市計画局 まち再生・創造推進室

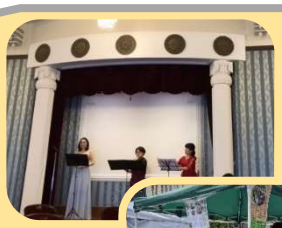
▼ゼロからのスタート

休日の施設開放には、安全管理の面も含めて様々なシミュレーションが必要だったり、必要な備品の確保へ向けどの部署がどれくらい持っているかを確認するところから始まり、当日の運営補助に文化ボランティア制度を活用するなど、他の部署の力を最大限貸していただく形で準備を進めていきました。

また、将来的な自律的な運営へ向けて、**提案者の方々の多大な協力**の元、SNS 等の構築・発信活動や実行委員会（第一回委員長：鳥本光照氏）の検討を、平行して進めていきました。

▼出展者の方とゆっくり交流できる、市民が主役のイベントに

2024/6/15（土）開催の『まちづくり・お宝バンク』京都のまちの文化祭イベントでは、市役所前広場や本庁舎を活用し、31 団体が飲食・物販、ワークショップ、アクティビティ、展示、演奏会など幅広い出展を行いました。



運営における課題はありましたが、京都の市民協働らしい多様な市民活動を発信できたのではないかと思います。

▼開催後は、実行委員会として取組提案し、次年度企画と、提案者同士の交流を進めています

文化祭が提案者同士の活動を知るきっかけになったという感想もあり、現在は提案者の活動拠点を巡りながら、発表や懇談を楽しめる交流会を開催しています。

▼今回の試みのポイント:共通の経験によって、部署との関係を育める

今回のイベントの実現へ向けて、各部署の行っている業務内容や抑えるべきポイントなどを改めて知る機会にもなり、今回のような経験の共有は、役所内の連携関係の強化にもつながる貴重な機会となりました。

取組例
02

芸術表現を通して 人や社会がつながる機会をつくりたい！

アート/展示　福祉活動

連携実現

（一社）ヴァリアスコネクションズの成実さんは、福祉活動をされながら「目をつむる写真展」というアート活動を通じて、「わたしたちは共に生きている」ことを実感できる社会を目指していました。これまでに京都、静岡、滋賀などでの活動を積み重ねられ、今年度は、京都市内の公共の場での展示機会を探していました。

お宝 No.468 目をつむる写真展

協力　都市計画局　歩くまち京都推進室

▼活動趣旨や実績、作品性も後押しに

候補に挙がった四条通の地下道での展示は可能なのか。年度途中だったこともありスケジュール上も可能性が低いと思いながらも、まずは歩くまち推進室に事前相談に行くところから始まりました。

実際ご相談してみると、過去に「NPO 法人障碍者芸術推進研究機構（天才アート KYOTO）（お宝NO46）」の展示実績があり、ヴァリアスコネクションズさんの活動趣旨や福祉関係の活動への理解、アート作品としての質の高さ、過去の活動実績への信頼など総合的な判断をいただき、「調整によっては実現できるかもしれない」と**担当者の方々から前向きな協力を得る**ことができました。

夏に、現場にて展示方法について複数回検討を重ねる

開催前には関連イベントを機運を高めながら、1 月末いよいよ搬入！

▼提案者、関係者双方の協力により実現

2025/2/1～2/26 に四条通地下道での展示を行うには、1 か月の会期に耐えうる展示方法の検討から、鉄道会社や商店街等のご理解やご協力など、様々な対応や調整が必要でしたが、歩くまち推進室さんを通じて、多方面の関係者にご協力いただきました。それが叶った要因としては、**準備期間での密な情報共有による相互理解を丁寧にできた**ことも大きいと感じています。

その結果実現した展示は、**空間と相まって迫力ある展示**となり、搬入搬出時だけでも足を止めて「**展示良かったよ**」と声をかけて下さり、市民の方の心に残る空間体験を提供できたのではないかと実感しています。

京都市役所を活用した、交流や活動の機会が生まれています。

▼2024/6/3～6/28@京都市役所地下連絡通路
『まちづくり･お宝バンク』提案団体の活動紹介を初展示！

初展示は、長い活動歴の中で展示作品をお持ちの 3 提案者の方による活動紹介を行いました。今後継続して紹介展示をしていく予定です。

お宝 No.172 フラワー･サイコロジスト認定事業

お宝 No.237 京都の町並み風景を縫う「町家キルト」

お宝 No.430 おばあちゃん×芸大生の共同制作「まとう刺し子」の写真集を配布したい

林サヨコさん　市役所での展示を伝えたら、たくさんの方が「観に行ったよ」と反応をくれました。まるで美術館のように綺麗に展示され、普段とはまた違った雰囲気の展示ができました。

京都市役所の庁舎建て替えに伴い、市民の方に開かれた空間、発信活動を可能にする設えなどが充実しました。屋上庭園の開放を始め、市役所前広場でのイベント開催、市役所とゼスト御池をつなぐ地下通路では年間通して様々な部署の活動発信の展示が行われているなど、市役所の建物の利活用を通じて市民の方との交流の場づくりを積極的に行っています。現在では、これまで以上に幅広い市民の方が利用されている様子を見かけます。
京都市役所の北庁舎も完成間近です。建物やイベントも楽しみに、ぜひ市役所にお越しください。

□お宝バンクの取組提案に興味をもたれた地域の方，事業者の方，関連部署の方
□行政や事業者の方とのつながりを模索中の市民の方，連携の可能性を一緒に考えます。お気軽にご連絡下さい！